

次世代ちばレポ “MyCityReport”実証実験参加自治体の追加募集（第二次募集）のお知らせ

平成 29 年 4 月 14 日

国立大学法人東京大学

合同会社 Georepublic Japan

一般社団法人社会基盤情報利活用推進協議会

千葉市

■趣旨

市民協働型プラットフォームの必要性が叫ばれている中で、日本国内の千葉市のちばレポ (<http://chibarepo.force.com/>) の事例のように、市民の苦情を受け付けるだけに留まらず、市民サービスの向上や行政の効率化、働き方の改革にまで踏み込む事例まで出てきました。

本取組では、先進的な取組を行ってきた千葉市と全面的に協力し、全国の自治体で利用可能なオープンソースベースの次世代型の市民協働型オープンプラットフォームを目指し、従来のプラットフォームに加え、クラウドサービス、機械学習等の技術を用いて現場の知・市民の知を有機的に組込んだものを約 2 年半にわたり、開発・実証を行っていくこととし、昨年 8 月 25 日～10 月 31 日に実証実験参加自治体の募集を行いました。その結果、千葉市のほか、3 自治体（室蘭市、市原市、足立区）が正式に、他 3 自治体（松戸市、茂原市、長久手市）がオブザーバとして参加し、今年の 1 月 19 日に千葉市役所にて共同記者発表を行うとともに[1]、実証実験における議論を進めてまいりました。

その後も、他自治体からの問い合わせが多いことから、今回は、さらに実証実験参加自治体の幅を広げ、下記参加条件に基づき追加募集を行いたいと思います。ふるって御参加下さい。

■参加条件

次世代ちばレポ”MyCityReport”の構築と実証に関心があり、道路・公園等の公共施設管理関係の部に協力を得られて、平成 29 年度から仕様や運用の議論を含む実証実験を行える地方自治体関係者を対象とします（実証実験規模の大小は問いません）。参加頂ける場合は旅費等の支援が可能な場合がありますのでご相談下さい。また、実験期間中は本システムは原則無償で利用でき、実証実験のサポートを行います。ただし、今回はオブザーバ参加は受け付けていません。

■応募方法

- ・応募期間：4 月 17 日～5 月 18 日
- ・最大 5 自治体程度
 - ※原則は先着順で、応募者多数の場合は締切日前に締め切る事があります。
 - ※なお、応募に際して、詳細のお尋ねありましたら、個別に説明させて頂く事も可能です。
- ・連絡先：関本准教授（sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp）
- ・5 月 19 日に今年度第 1 回の検討会を予定し、以降 2 か月に一回程度、開催します。

■参考 URL

- [1]（千葉市）<https://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/hisho/hodo/documents/160119-03-01.pdf>
（東京大学）http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z0205_00014.html

※補足資料は研究室 HP（<http://sekilab.iis.u-tokyo.ac.jp/archives/1670>）をご覧ください。

以上